TADOKU JUNIOR　えいごの名作詩　★★★☆☆ ふつう　539語

A Visit from St. Nicholas

クリスマスのまえの夜（サンタクロースがやってきた）

Clement Clarke Moore（1912年の本）　**原文そのまま**　朗読：Kara Shallenberg (1969-2023)

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？　クリスマスのまえの夜、外で大きな音が。まどから見ると、8頭のトナカイがひく小さなそりと、ゆかいなおじいさんが……！



'Twas the night before Christmas, when all through the house
Not a creature was stirring, not even a mouse;
The stockings were hung by the chimney with care
In hopes that St. Nicholas soon would be there;





The children were nestled all snug in their beds,
While visions of sugar-plums danced in their heads;
And mamma in her kerchief, and I in my cap,
Had just settled our brains for a long winter's nap,



When out on the lawn there arose such a clatter,
I sprang from the bed to see what was the matter.
Away to the window I flew like a flash,
Tore open the shutters and threw up the sash.



The moon on the breast of the new-fallen snow
Gave the lustre of mid-day to objects below,
When, what to my wondering eyes should appear,
But a miniature sleigh, and eight tiny reindeer,



With a little old driver, so lively and quick,
I knew in a moment it must be St. Nick.
More rapid than eagles his coursers they came,
And he whistled, and shouted, and called them by name:

Now, Dasher! now, Dancer! now, Prancer and Vixen!
On, Comet! on, Cupid! on, Donder and Blitzen!
To the top of the porch! to the top of the wall!
Now dash away! dash away! dash away all!”



As dry leaves that before the wild hurricane fly,
When they meet with an obstacle, mount to the sky;
So up to the house-top the coursers they flew,
With the sleigh full of Toys, and St. Nicholas too.

And then, in a twinkling, I heard on the roof
The prancing and pawing of each little hoof.
As I drew in my head, and was turning around,
Down the chimney St. Nicholas came with a bound.

He was dressed all in fur, from his head to his foot,
And his clothes were all tarnished with ashes and soot;
A bundle of Toys he had flung on his back,
And he looked like a peddler just opening his pack.



His eyes—how they twinkled! his dimples how merry!
His cheeks were like roses, his nose like a cherry!
His droll little mouth was drawn up like a bow,
And the beard of his chin was as white as the snow;



The stump of a pipe he held tight in his teeth,
And the smoke it encircled his head like a wreath;
He had a broad face and a little round belly,
That shook when he laughed, like a bowlful of jelly.



He was chubby and plump, a right jolly old elf,
And I laughed when I saw him, in spite of myself;
A wink of his eye and a twist of his head,
Soon gave me to know I had nothing to dread;



He spoke not a word, but went straight to his work,
And filled all the stockings; then turned with a jerk,
And laying his finger aside of his nose,
And giving a nod, up the chimney he rose;



He sprang to his sleigh, to his team gave a whistle,
And away they all flew like the down of a thistle.
But I heard him exclaim, ere he drove out of sight,
“Happy Christmas to all, and to all a good-night.”

和訳 クリスマスのまえの夜（サンタクロースがやってきた）（A Visit from St. Nicholas）

クリスマスのまえの夜のこと。家じゅうどこを見ても、
生きものは何ひとつうごかず、ネズミさえもしずかでした。
くつ下は、だんろのそばに、ていねいにつるしてありました。
セント・ニコラスが、もうすぐ来てくれますようにと。

子どもたちはベッドの中で、ぬくぬくと丸くなってねむり、
頭の中では、あまいおかしのゆめがおどっていました。
お母さんはずきんを、ぼくはねぼうしをかぶって、
長い冬の夜のねむりにつこうとした、ちょうどそのとき、

外のしばふで、ガタガタと大きな音がしました。
ぼくはベッドからとびおきて、何ごとかと見に行きました。
まどへ、いなずまのようにかけよって、
よろい戸をぱっとあけ、まどを上におしあげました。

ふったばかりの雪の上に、月の光がさして、
下にあるものを、まるでお昼のように明るくてらしていました。
そのとき、おどろくぼくの目にうつったのは、
なんと小さなそりと、8頭の小さなトナカイ。

そして、元気できびきびした、小さなおじいさんがたづなをとっていました。
ぼくはすぐに、セント・ニックにちがいないとわかりました。
ワシよりもはやく、トナカイたちはやってきました。
おじいさんは口ぶえをふき、さけび、名前をよびました。

「それ、ダッシャー！それ、ダンサー！それ、プランサーにヴィクセン！
進め、コメット！進め、キューピッド！進め、ドナーにブリッツェン！
ポーチの上へ！かべの上へ！
さあ、かけろ！かけろ！みんな、かけろ！」

かれ葉が、はげしいあらしの前にまいあがり、
何かにぶつかると、空へとのぼっていくように、
トナカイたちは、屋根の上へとびあがりました。
おもちゃをいっぱいつんだそりと、セント・ニコラスもいっしょに。

それから、あっというまに、屋根の上から聞こえてきました。
小さなひづめが、はねたり、ふみならしたりする音が。
ぼくが頭をひっこめて、ふりむこうとしていると、
えんとつから、セント・ニコラスがぴょんととびおりてきました。

頭から足まで、毛皮の服を着ていて、
その服は、はいとすすで、すっかりよごれていました。
おもちゃのつつみを、せなかにしょっていて、
まるで、荷物をひらいたばかりの物売りのようでした。

その目――なんてきらきらしていること！えくぼの、なんて楽しそうなこと！
ほっぺはバラのよう、鼻はサクランボのよう！
ゆかいな小さい口は、弓のようににっこりまがり、
あごのひげは、雪のように真っ白でした。

みじかいパイプを、歯でしっかりくわえ、
そのけむりが、リースのように頭をとりまいていました。
顔は大きくて、おなかは小さくてまるく、
わらうと、ボウルいっぱいのゼリーみたいにぷるぷるゆれました。

まるまる太っていて、ほんとうにゆかいな、年とったようせいでした。
そのすがたを見て、ぼくは思わずわらってしまいました。
かた目でウインクして、首をちょっとかしげたので、
何もこわがることはないと、すぐにわかりました。

おじいさんはひとことも話さず、まっすぐ仕事にとりかかり、
くつ下をみんないっぱいにすると、くるりとふりむき、
指を鼻のよこにあてて、
こくりとうなずくと、えんとつをのぼっていきました。

そりにとびのり、トナカイたちに口ぶえで合図すると、
みんなは、アザミのわた毛のように、とんでいきました。
でも、見えなくなる前に、おじいさんがこうさけぶのが聞こえました。
「みなさん、メリー・クリスマス。そして、みなさん、おやすみなさい。」

たんご と クイズ　クリスマスのまえの夜（サンタクロースがやってきた）

mouse ネズミ	**stockings** くつ下	**chimney** えんとつ・だんろ
snow 雪	**sleigh** そり	**reindeer** トナカイ
pipe パイプ	**jelly** ゼリー	

Q1 そりをひいていたのは何？

① 8頭のトナカイ　② 6頭の馬　③ 10ぴきの犬

Q2 セント・ニコラスは、家のどこから入ってきた？

① げんかんのドア　② まど　③ えんとつ

Q3 わらうと、ゼリーのようにぷるぷるゆれたのは？

① ほっぺ　② おなか　③ ひげ

こたえ

Q1 ①　「eight tiny reindeer」とあります。8頭の小さなトナカイが、そりをひいてやってきました。

Q2 ③　屋根の上にトナカイがおりたあと、セント・ニコラスはえんとつから、ぴょんととびおりてきました。

Q3 ②　小さくてまるいおなか（belly）が、わらうとボウルいっぱいのゼリーのようにゆれました。

原田英語の多読ベストジュニア
本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。
haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #17135（Clement Clarke Moore、1912年）。パブリックドメイン。
挿絵：Jessie Willcox Smith（同じ本の初版の挿絵。パブリックドメイン）
朗読（Web版）：Kara Shallenberg (1969-2023)（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。